



シントーハヤブサシリコンとは
従来品の作業性を大幅に改良
使いやすさと2液弱溶剤シリコン塗料の高性能を追求した塗料です

シントーハヤブサシリコン

2液弱溶剤形低汚染シリコン樹脂塗料

特長

- 抜群の作業性(はけ・ローラーが軽く、タレにくい)
- シリコンの特長を活かした高耐候で汚れにくい塗膜 (JIS K 5659 1級相当)
- 艶調整(艶あり・5分艶・3分艶)が可能
- 防藻・防カビ性を有します
- 塗料用シンナーで希釈が可能

用途

- 各種外装材のトップコート(弾性塗材を除く)
- 鉄部(鋼製階段、手すり、鉄扉など)
- 屋根材(トタン、カラー鋼板など)
- コンクリート、モルタル、各種ボード

商品構成

| 商品名 | 容量 | | | 混合比 主剤:硬化剤 | 色相 | 艶 |
|--------------|------|-------|-------|---------------|------------------|----------------|
| | セット | 主剤 | 硬化剤 | | | |
| シントーハヤブサシリコン | 15kg | 14kg | 1kg | 93:7 | 白・淡彩色 中彩色・濃彩色 | 艶あり・5分艶 3分艶 |
| | 3kg | 2.8kg | 0.2kg | | | |

適用下塗

- リフレエース・ライトリフレ等の微弾性フィラー
- シントーハヤブサエポプライマー等
- 浸透性マイルドエポシーラー、リフレッシュプライマー等

標準塗装仕様

○外壁改修仕様(さざ波仕上げ)

| 工程 | 塗料名(希釈剤) | 希釈率(%) | 使用量(kg/m ² /回) | 塗回数 | 塗装間隔(20℃) | 塗装方法 |
|------|-----------------------------------|--------|---------------------------|-----|-----------|-------------|
| 素地調整 | 旧塗膜表面の汚れや劣化塗膜を除去し、段差修正は主材により修復する。 | | | | | |
| 主材塗り | リフレエース (水道水) | 1~5 | 0.8~1.2 | 1 | 16時間以上 | 多孔質 ローラー |
| 上塗-1 | シントーハヤブサシリコン (塗料用シンナー) | 5~10 | 0.12~0.15 | 1 | 3時間~7日 | はけ ローラー |
| 上塗-2 | シントーハヤブサシリコン (塗料用シンナー) | 5~10 | 0.12~0.15 | 1 | — | はけ ローラー |

○鉄部改修仕様

| 工程 | 塗料名(希釈剤) | 希釈率(%) | 使用量(kg/m ² /回) | 塗回数 | 塗装間隔(20℃) | 塗装方法 |
|------|---|--------|---------------------------|-----|-----------|------------|
| 素地調整 | ディスクサンダー等の電動工具及び、ワイヤーブラシ、スクレーパー、サンドペーパー等を用いて、錆び・脆弱塗膜を除去し、被塗面を清掃する。油脂分はシンナー拭きする。 | | | | | |
| 下塗 | シントーハヤブサエポプライマー (塗料用シンナー) | 5~10 | 0.15~0.20 | 1~2 | 1日~7日 | はけ ローラー |
| 上塗-1 | シントーハヤブサシリコン (塗料用シンナー) | 5~10 | 0.12~0.15 | 1 | 3時間~7日 | はけ ローラー |
| 上塗-2 | シントーハヤブサシリコン (塗料用シンナー) | 5~10 | 0.12~0.15 | 1 | — | はけ ローラー |

*シンナー希釈の際は必ず電動攪拌機をご使用ください。手攪拌では均一に混ざりにくい場合があります。
*塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

シントーハヤブサシリコン

性能表

| 試験項目 | 試験条件 | シントーハヤブサシリコン(艶あり) | 備考 |
|----------|----------------------|-------------------|---------------------|
| 使用可能時間 | 20℃ | 7時間 | |
| 乾燥時間 | 指触(23℃) | 15分 | |
| | 硬化(23℃) | 24時間 | |
| 60度鏡面光沢度 | ガラス板上 | 88 | |
| 硬度 | 鉛筆引っかき値 | 3H | 鉛筆硬度 |
| 耐おもり落下性 | 300g 500mm | 異常なし | デュポン式 |
| 耐酸性 | 0.5% H_2SO_4 ・168H | 異常なし | 浸せき法 |
| 耐アルカリ性 | 飽和 $Ca(OH)_2$ ・168H | 異常なし | 浸せき法 |
| 耐汚染性 | 暴露6ヶ月 4L | 3 | 南面30°スレート板上 |
| 促進耐候性 | キセノン2500時間 | 光沢保持率97% | JIS K5600 7-7 サイクルA |
| 耐候性 | 暴露(1年) | 異常なし | 沖縄暴露 |

| 温度 | 5℃ | 10℃ | 20℃ | 30℃ |
|---------------|-----|-----|-----|-----|
| 上塗工程内塗装間隔(最短) | 5時間 | 5時間 | 3時間 | 2時間 |

*塗付量、換気の状態、湿度、下地の状態により異なることがあります。

注意事項

○施工上の注意事項

- ・使用前に十分に攪拌してください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上および換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ・外部での塗装において、強風時や降雨、降雪の恐れがある場合は塗装を避けてください。
- ・ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑剤を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。
- ・異なる色相での塗り重ねは、塗り重ねる上塗が1回目の上塗を侵してブリード等により変色する場合があります。ご注意ください。
- ・被塗面温度が50℃を超える場合は、塗装を避けてください。

■硬化剤について

- ・硬化剤は湿気の影響を受けやすいため、保管時の水分等の混入には十分注意するとともに開缶後は全量使い切るようにしてください。
- ・硬化剤の混合割合(重量比)は正確に行ってください。

■粘度調整について

- ・粘度調整は弊社塗料用シンナーで希釈してください。
- ・希釈割合は、塗装方法、施工方法、施工条件によって異なります。事前にためし塗りをして、塗装条件を確認してください。

■洗浄について

- ・塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

○取り扱いおよび貯蔵上の注意事項

- ・火気のない局所排気を設けた場所で使用してください。

- ・塗装中、乾燥中とも換気を十分行い、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- ・取り扱い中は、皮膚に触れない様に、必要に応じて下記の保護具を着用してください。有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・確実にフタをし、40℃以下の場所で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。
- ・捨てるときは、産業廃棄物として処理してください。
- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・容器は垂直に持ち上げてください。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

○緊急時および応急処置

- ・火災のときは炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用いてください。
- ・目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化等がある場合には、医師の診察を受けてください。
- ・容器からこぼれたときには、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管してください。

《安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください》



工場 尼崎・千葉

<http://www.shintopaint.co.jp/>

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号 ☎(06) 6426-3355(代) FAX(06) 6429-6188(代)
 東京事業所 〒136-8611 東京都江東区新木場四丁目3番17号 ☎(03) 3522-2111(代) FAX(03) 3522-2150(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道営業所 ☎(0123) 32-0431(代) FAX(0123) 34-6199(代) 名古屋営業所 ☎(052) 612-0293(代) FAX(052) 612-0318(代)
 東北営業所 ☎(022) 285-7915(代) FAX(022) 285-7813(代) 大阪営業所 ☎(06) 6426-3763(代) FAX(06) 6429-6268(代)
 東京営業所 ☎(03) 3522-1672(代) FAX(03) 3522-1678(代) 中国営業所 ☎(082) 264-6822(代) FAX(082) 264-6821(代)
 静岡営業所 ☎(054) 245-0135(代) FAX(054) 247-4091(代) 四国営業所 ☎(087) 841-1251(代) FAX(087) 843-3108(代)
 北陸営業所 ☎(076) 262-1305(代) FAX(076) 262-1315(代) 九州営業所 ☎(092) 472-2222(代) FAX(092) 473-5777(代)